



櫻井選手とレスリング体験をする児童ら

佐賀小・佐賀中で櫻井つぐみ選手の講演会・レスリング体験

1月23日(金)、佐賀小学校・佐賀中学校で2024年パリオリンピックで金メダルに輝いた櫻井つぐみ選手を招き、「夢に向かって～金メダルまでの道のり～」と題した講演会が行われました。また、講演会終了後には、櫻井選手が同小児童らとレスリング体験を行いました。

児童らは、「講演を聞いて、負けることも大事だと知った。その悔しさを練習に活かしていきたい」、「勝てなかったけど楽しかった」などと感想を話しました。また、櫻井選手は、「思った以上に、児童・生徒の感想から自分の言ったことが心に残っていると感じた。「活かしていきたい」という声も多く、話してよかったと思う。高知に戻ってきたので、スポーツの中でも特にレスリングを盛り上げていきたい」と話しました。



佐賀明神丸が出港する様子

佐賀明神丸出港

今シーズンのカツオ一本釣り漁のスタートに向け、2月5日(木)、カツオ一本釣り漁船が佐賀港を出港しました。

同日に出港したのは、(株)佐賀明神丸所属の第63佐賀明神丸と、昨シーズンの近海カツオ一本釣り漁船の漁獲高で全国5位となった第83佐賀明神丸の2隻。また、全国2位となった第88佐賀明神丸は2月8日(日)に出港しました。

当日は、荷物の積み込みを行った後、出発前の神事が行われました。港には家族や友人らが集まり、「気をつけて、頑張ってきてね」、「たくさん獲ってきてね」などの激励の言葉に見送られながら出港しました。



野鳥を観察する参加者ら

冬の野鳥観察会2026

2月11日(水)と21日(土)に、NPO砂浜美術館主催の「冬の野鳥観察会2026」が開催されました。

同イベントは、身近な自然に生きる野鳥の世界を感じ、楽しんでもらいたいという思いで開催され、今年で9回目。

2月11日(水)の回では、森富美男さんと森隆秀さんの案内のもと、14名が参加し、ビオスおおがたから松原周辺を散策しました。ホシハジロやハクセキレイなど、30種類の野鳥を見ることができました。四万十市から参加した福永久美さんは、「この会に参加したことをきっかけに鳥が好きになった。珍しい鳥も見ることができて良かった」と話しました。



防災を学ぶJICA研修員ら

JICA研修員が防災講話・視察のため来町

1月27日(火)、JICA研修員5名が研修のため、黒潮町を訪問しました。同研修は地震・津波を起因とする災害や、台風などの風水害に焦点をあて、防災対策について講話や視察を通じて課題や解決策を明らかにすることを目的に行われました。研修員らは町長を表敬訪問した後、町の地震・津波対策や風水害対策に関する講話を受け、町内にある津浪の碑や佐賀地区津波避難タワーを見学しました。

参加した研修員らは、「多くの防災対策を学ぶことができ、貴重な体験となった。学んだことを持ち帰り、「絶対に諦めない」という姿勢を伝えたい」と話しました。